

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり41.8人と、前週の約1.5倍に増加し、警報レベル(定点当たり30.0人)を上回りました。市内全域で本格的な流行となっています。

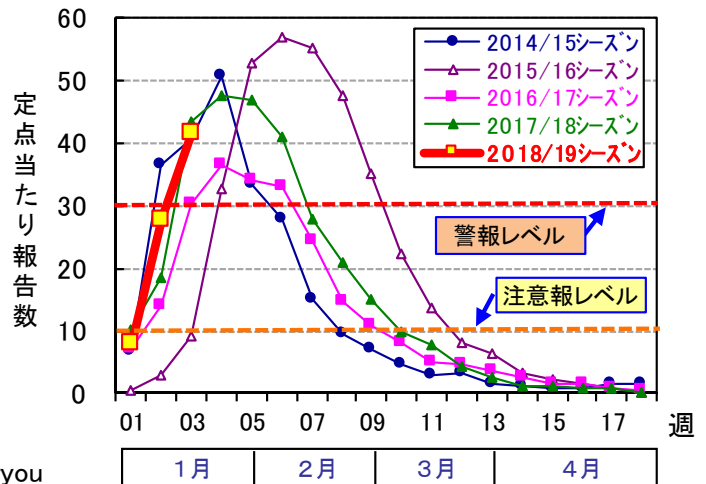
また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等も増加しており、第3週には32件報告されています。(次頁参照)

今後、さらに流行が拡大する可能性があるため、十分な休養とバランスのとれた食事を心がけ、流水・石けんによる手洗いや咳エチケットの励行、適度な湿度(50～60%)の保持、人混みへの外出は控えるなどの対策を徹底しましょう。また、症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

【参考】厚生労働省 インフルエンザ(総合ページ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuenza/

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	1545	41.76	26.43	急増	小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.40	急増
	咽頭結膜熱	2	0.08	0.26	急増	眼科	RSウイルス感染症	12	0.50	0.48	急増
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	2.17	2.05	急増		急性出血性結膜炎	-	-	-	急増
	感染性胃腸炎	153	6.38	8.45	急増		流行性角結膜炎	2	0.25	0.70	急増
	水痘	4	0.17	0.55	急増		細菌性髄膜炎	-	-	-	急増
	手足口病	5	0.21	0.17	急増		無菌性髄膜炎	-	-	-	急増
	伝染性紅斑	5	0.21	0.32	急増		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20	急増
	突発性発しん	4	0.17	0.32	急増		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	急増
	ヘルパンギーナ	-	-	0.01	急増		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	急増

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 → 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ⇐ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇐ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	7	女性(20歳代)・推定感染地域: 国外、男性(60歳代)、女性(60歳代)、男性(70歳代)
5	急性脳炎	1	2	男性(10歳代)
5	梅毒	3	6	男性(20歳代)、女性(20歳代)、男性(40歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパン ギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎
報告数	広島市	第51週	115	8	85	304	15	7	3	8	4	2	12	-	7	-	-	-	1
		第52週	141	10	54	281	13	3	6	6	1	2	10	1	5	-	2	-	1
		第1週	273	2	21	98	5	-	2	-	-	4	9	-	6	-	2	-	2
		第2週	1,033	8	65	260	15	-	7	10	1	6	12	-	6	-	1	-	2
		第3週	1,545	2	52	153	4	5	5	4	-	3	12	-	2	-	-	-	-
定点 当たり	広島市	第51週	3.11	0.33	3.54	12.67	0.63	0.29	0.13	0.33	0.17	0.08	0.50	-	0.88	-	-	-	0.14
		第52週	4.15	0.42	2.25	11.71	0.54	0.13	0.25	0.25	0.04	0.08	0.42	0.13	0.63	-	0.29	-	0.14
		第1週	8.03	0.09	0.95	4.45	0.23	-	0.09	-	-	0.18	0.41	-	0.75	-	0.29	-	0.29
		第2週	27.92	0.33	2.71	10.83	0.63	-	0.29	0.42	0.04	0.25	0.50	-	0.75	-	0.14	-	0.29
		第3週	41.76	0.08	2.17	6.38	0.17	0.21	0.17	-	0.13	0.50	-	0.25	-	-	-	-	-
全国		第1週	16.30	0.24	0.82	3.15	0.44	0.11	0.38	0.16	0.01	0.06	0.30	0.01	0.54	0.01	0.01	0.15	0.05
		第2週	38.54	0.42	2.10	7.52	0.55	0.14	1.00	0.36	0.02	0.10	0.39	0.01	1.03	0.03	0.03	0.29	0.06

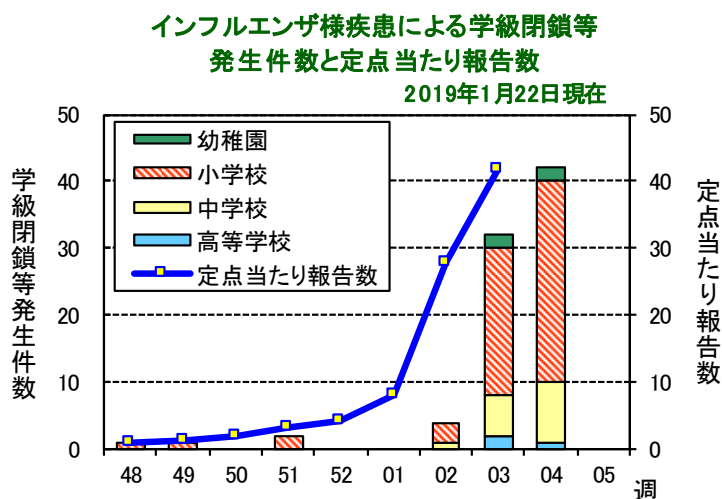
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.0) 鼻炎	7	女	2018/12/12	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
感染性胃腸炎	嘔気 腸重積	1	男	2018/12/05	糞便	アデノウイルス1型
その他の疾患	発熱(39.0) 紅斑 リンパ節腫脹	0	女	2018/11/29	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
その他の疾患	発熱(39.9)	0	男	2018/12/04	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の疾患	発熱(40.3) 熱性痙攣	1	男	2018/12/08	鼻汁	パラインフルエンザウイルス1型
その他の疾患	発熱(38.3)	0	不詳	2018/12/11	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の発生状況



広島市におけるインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第3週に32件、第4週(1月21日～1月27日)に42件の報告がありました(1月22日現在)。

今シーズンのインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の累計報告数は、86件(幼稚園:5件、小学校:62件、中学校:16件、高等学校:3件)で、第3週以降、小学校を中心に増加しています。

インフルエンザの本格的な流行に伴い、今後、さらに増加する可能性があるため、集団生活の場では特に注意が必要です。健康管理に十分注意し、手洗いの励行、咳エチケットなど、感染の予防及び拡大防止対策を徹底しましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第3週(1月14日～1月20日)